

検見川送信所を知る会

『検見川送信所を知る会』は、検見川送信所の通信・放送史的、建築史的な意味を学ぶと同時に保存、活用の可能性について考える人たちの集まりです。2007年10月に発足しました。「送信所について知りたい」「送信所を残したい」というお気持ちの方は、ご入会をお願いします。会員数が多い事は、大きな力になります。今後も見学会やシンポジウムなどを予定しています。



2007年(平成19年)現在の検見川送信所

室町時代の書物にも記録として残る
千葉市花見川区検見川町。
JR新検見川駅から徒歩10分、
住宅地の真ん中に、
その建物はある。

通信省(現在のNTT)のエース建築家だった吉田鉄郎氏が手がけた建物は表現派風。建物のコーナー、窓などには丸みをつけた意匠が施されている。現在このような大正末期のコンクリート建築は、ほとんど残っていない。



1926年(大正15年)開局当時の検見川送信所

コールサインは「J1AA」。日本の無線技術の発展に大きく寄与した。
1930年(昭和5年)10月27日には、
ロンドン軍縮条約締結を記念した浜口首相の演説を米英に向けて放送。
これが日本初の国際放送となった。

歴史的にも、建築史的にも重要な近代化遺産。
千葉市は近い将来、区画整理を行い、建物を取り壊そうとしている。
検見川送信所、コールサイン「J1AA」、この建物は今も何かを発信し続けている。

『検見川送信所を知る会』では仲間を募っています。

お問い合わせ&連絡先：『検見川送信所を知る会』（仲佐）

〒 262-0026 千葉市花見川区瑞穂 2-1-1-20-908

Tel&Fax: 043-276-0444

E-mail kemigawamusen@mail.goo.ne.jp (事務局)

ホームページ <http://moleskine.air-nifty.com/photos/kemigawamusen/>

入会案内は
裏面を
ご覧下さい

* メールマガジン「検見川送信所 J1AA 通信」は以下の URL からお申し込み頂けます。
<http://www.mag2.com/m/0000246340.html>

『検見川送信所を知る会』 入会のご案内

『検見川送信所を知る会』は、**検見川送信所**の歴史的、建築史的な意味を学び、保存、活用の可能性について考える人たちの集まりです。

入会ご希望の方は、入会申込書を事務局までお送り頂くか、E-mailに申込書と同様の事項を記載の上、事務局宛お送り下さい。会費は無料です。

皆さんの積極的なご参加と、ご提案を、お待ちしております。また、広報・イベント企画・会計等を担って下さる方、カンパも随時募集しています。

会員数が多い事は、大きな影響力を発揮します。皆様のご入会を、お待ちしております。

お問い合わせ & 連絡先

『検見川送信所を知る会』 代表・仲佐秀雄
〒262-0026 千葉市花見川区瑞穂2-1-1-20-908
Tel&Fax:043-276-0444
E-mail kemigawamusen@mail.goo.ne.jp
ホームページ <http://moleskine.air-nifty.com/photos/kemigawamusen/>

* メールマガジン「**検見川送信所 J1AA 通信**」は以下の URL からお申し込み頂けます。
<http://www.mag2.com/m/0000246340.html>

検見川送信所については表面をご覧ください。

.....以下を事務局まで FAX して頂くか、切り取ってご郵送下さい。.....

『検見川送信所を知る会』入会申込書

年 月 日

私は『検見川送信所を知る会』に入会します。

氏名: _____ (フリガナ _____)

住所: 〒 _____

E-mail: _____ 携帯: _____

電話: _____ Fax: _____

* 連絡及び会報送付方法は原則 Eメールとなります。その他の方法をご希望の方は事務局までご連絡下さい。

～送信所の未来像・会への提案・会で発揮して頂ける特技 & 経験など、自由にご記入下さい。～